取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

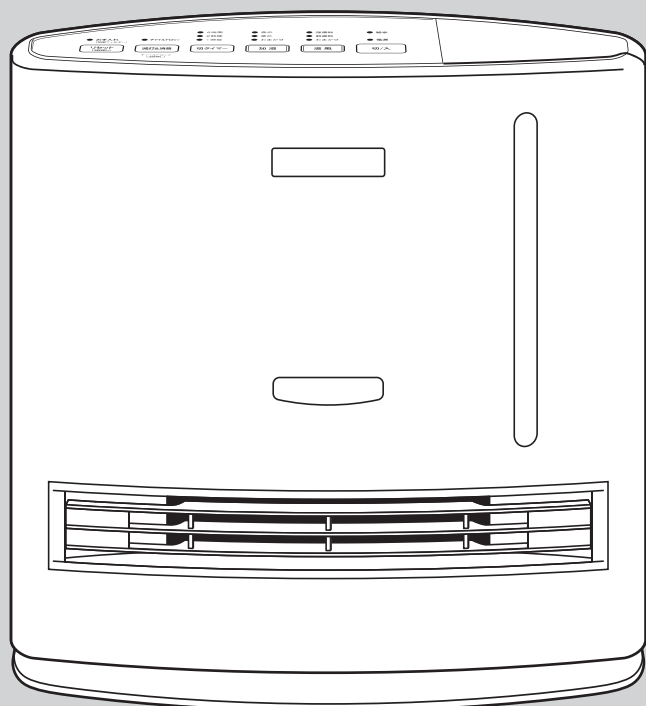
家庭用

日立加湿セラミックファンヒーター

型式 HLC-1230

（エッチエルシー　1　2　3　0）

このたびは、日立加湿セラミックファンヒーターをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。

目　次

- この加湿セラミックファンヒーターは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
  またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

〈絵表示の例〉

禁止	指示を守る	分解禁止

電源プラグを抜く	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止	接触禁止

⚠警告

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造はしない
異常動作してけがや発火の原因になります。

送風口やすき間にピンや針金、金属物など、異物を入れない
感電や異常動作してけがをすることがあります。

本体内部お手入れに塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

スプレー缶などを本体の上や近くに置かない
爆発や火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電や発熱による火災の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。電源コード根元部分が折れ曲がった状態で使用しない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

コンセントの差込がゆるいときは、使用しない。電源プラグとコンセントの間にほこりや水分を付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない
火災や故障の原因になります。

乳幼児の手の届く範囲で使わない
感電・やけどをおこすおそれがあります。

次のような方がお使いの時は、特に注意する。乳幼児、自分で温度調節(又は操作)のできない方
やけどのおそれがあります。

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水・お茶・ジュースなどをかけたりしない
ショート・感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

長時間同じところを温め続けない
やけどや低温やけどの原因になります。

カーテンなど燃えやすいものの近くや不安定な場所で使用しない
火災の原因になります。

高温、雨や水のかかる場所、火気の近く、油のかかる場所、引火性のガスのある場所では使用しない
故障や事故の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

交流100V以外では使用しない
異常発熱して、火災の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用し、他の器具と併用しない。延長コードは使用しない
異常発熱して、火災の原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

- 電源を入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 電源プラグ、電源コードなどが異常に熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

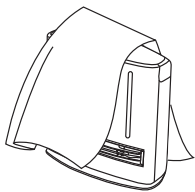
発煙・発火・感電のおそれがあります。このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

⚠注意

使用中や給水タンク、加湿トレイに水を入れたまま本体を持ち運ばない
水がこぼれる原因になります。

本体をテレビやオーディオなどの電気製品の上に置かない。また、熱に弱い家具やテーブルなどの上に置かない
テレビやオーディオ、パソコンなどの故障や感電のおそれがあります。

送風口に顔や手などを近づけない
やけどの原因になります。

使用中の本体の上に、紙や布などをかぶせたり、吸気口や送風口をふさいだりしない
過熱や火災の原因になります。

乾燥など他の用途に使わない
過熱や火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。感電やショートして発火することがあります。

犬や猫などのペットの暖房用には絶対に使用しない
ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

給水タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れをする
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によっては過敏に反応し健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

使用中や使用直後は、送風口付近や背面、加湿トレイに触れない
やけどの原因になります。

直射日光の当たるところ、暖房器具の近くや上には置かない
変形・変質や故障の原因になります。

湿度が高くなるところで使用しない
感電・故障・火災などの原因になります。

風が直接、家具、壁、天井、電気製品などに当たるところには置かない
家具などにシミや変形ができたり、電気製品の故障の原因になることがあります。

使用中や使用直後、お手入れをしない
高温部に触れ、やけどの原因になります。

給水タンク内には、水道水以外（アルカリイオン水など）は入れない
故障の原因になります。

使えない水
・40℃以上の温水、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水など（本体の変形や故障の原因）
・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など（かびや雑菌が繁殖する原因）

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜き本体が冷めてから行う
不意に作動して、けがをしたり、感電の原因になります。

スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、掃除用など）
樹脂や塗装部分が変質したり、破損するおそれがあります。

不安定な置き場所では使用しない。また、電気製品や家具などの上では使用しない
転倒すると、水がこぼれる原因になります。また、電気製品の故障や感電、家具を傷める原因になります。

就寝中は使用しない
家具などが触れると火災の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かない
正常に動作しないことがあります。

使いかた 各部のなまえ

正面

背面

加湿トレイを外すときは、給水タンクを先にはずしてください。給水タンクを外さないと、加湿トレイははずせません。

操作部

お手入れランプ
加湿フィルターのお手入れ時期をお知らせします。（13ページ）

チャイルドロックランプ
チャイルドロックを設定するとランプが点灯します。（10ページ）

切タイマーランプ
・切タイマーランプの設定時間を表示します。
・時間の経過により残り時間の目安を表示します。（10ページ）

加湿ランプ
加湿運転の状態を表示します。（8ページ）

温風ランプ
温風運転の状態を表示します。（8ページ）

給水ランプ
給水タンクの水がなくなると点滅します。（9ページ）

電源ランプ
電源「入」のときに点灯します。（8ページ）

お手入れ（加湿フィルター）
チャイルドロック
4時間
2時間
1時間
連続
低め
おまかせ
強
弱
おまかせ
給水
電源

リセット（3秒押し）
減灯&消音
チャイルドロック（3秒押し）
切タイマー
加 湿
温 風
切/入

リセットボタン
加湿フィルターのお手入れ後に押します。（13ページ）

減灯&消音ボタン
減灯＆消音の設定をします。（10ページ）
チャイルドロックの設定をします。（10ページ）

切タイマーボタン
切タイマーの設定をします。（10ページ）

加湿ボタン
・加湿運転を開始します。
・加湿運転の切り替えをします。（8ページ）

温風ボタン
・温風運転を開始します。
・温風運転の切り替えをします。（8ページ）

電源ボタン
電源の「入」「切」をします。（8ページ）

表示部

使いかた 使用前の準備

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造はしない

使用場所について

■必ず安定した水平な台の上に置いてください。

次のような場所や状態での使用はしないでください。
故障の原因になります。

■本体が傾いた状態
●水もれの原因になります。

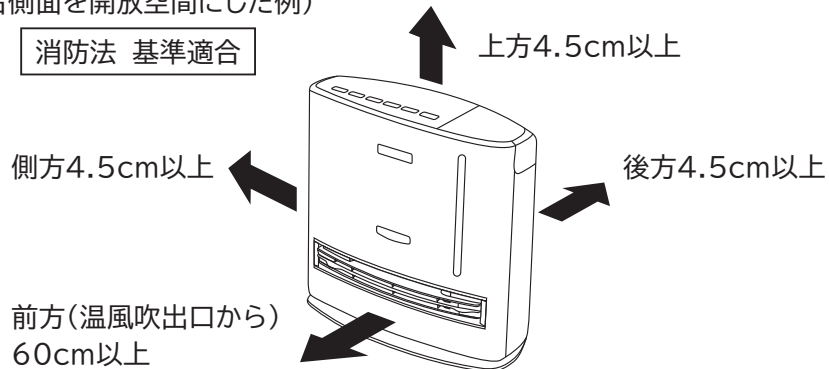
■不安定なところ
●不安定な場所や、棚・家具などの高い所に置いて使用しないでください。

■風が直接家具や壁、天井、カーテンなどに当たるところ
●シミがついたり、変形や故障の原因になります。

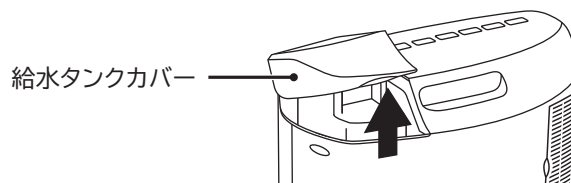
■直接日光のあたるところ、暖房器具の近くや上
●変形・変質や故障の原因になります。

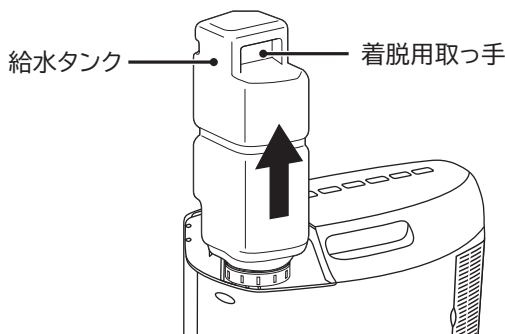
■ほこりが多いところ
●ほこりの多いところ、ホコリの多い台の上などで使用しないでください。

■磁気の多いところ（テレビ・ラジオなど）の近く
●正常に動作しないことがあります。

壁や燃えやすいもの（可燃物）から下図の寸法を離して使用する。ただし、左右面のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にする。

使いかた　給水タンクに水を入れる

①給水タンクカバーをはずす。

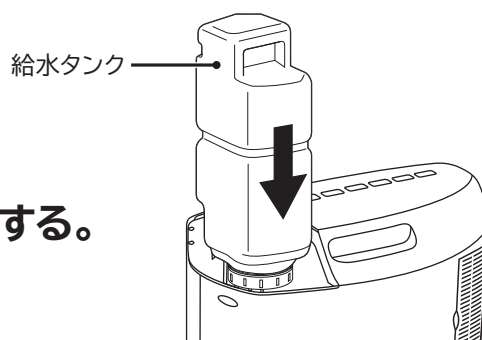
給水タンクカバーのツメを上にあげて外します。

②給水タンクを取り出す。

着脱用取っ手を持って上に持ち上げます。

③キャップを左に回してはずし、給水タンクに水を入れる。

- **必ず水道水（飲用）をそのまま使用してください。**
- 給水タンクはプラスチック製です。落としたり衝撃を与えると割れることがあります。特に給水タンク表面に水滴が付着しているときは、すべりやすいので両手でしっかりともってください。
- 注水後はキャップを確実に締め、水がもれないことを確認してください。こぼれた水は乾いた布でふき取ってください。

必要以上に強く締めないでください。水がもれる場合があります。

水が入った給水タンクは重たいので、
持ちはこびは両手でしっかりと持ってください。

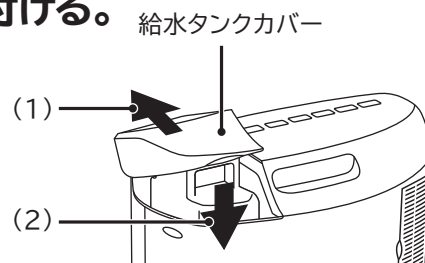
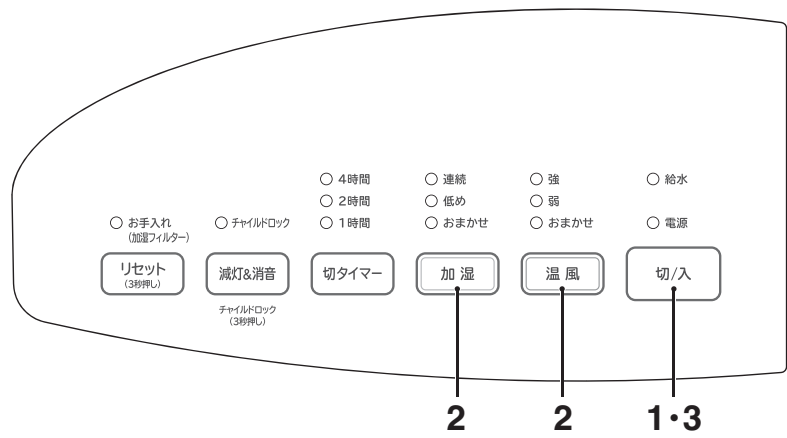
⚠警告	**ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。** 火災や故障の原因になります。 **使えない水** **・40℃以上の温水、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を入れた水など（本体の変形や故障の原因）** **・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など（かびや雑菌が繁殖する原因）**

④加湿トレイが本体に正しくセットされているか確認する。

加湿トレイを奥まで押し込みます。
加湿トレイが本体から飛び出していないことを確認してください。

加湿トレイが飛び出したまま使用すると、故障や事故の原因になります。

⑤給水タンクを本体にセットし、給水タンクカバーを取り付ける。

給水タンクは落としたりしないで、ゆっくりとセットしてください。
給水タンクが傾いていないことを確認してください。
給水タンクカバーは本体正面に向かって、取り付けます。

給水タンクの着脱を繰り返すと、加湿トレイ内の水量が増しますので、着脱は繰り返さないでください。

使いかた 温風・温風+加湿

1 電源プラグを差し込み、切/入を押す

●電源ランプと温風[おまかせ]ランプが点灯します。
（ご購入時は温風[おまかせ]運転設定になっています）
●電源プラグを抜かない場合は前の設定を記憶しています。
（電源プラグを抜くと、ご購入時の状態に戻ります）

2 お好みの運転を選ぶ

温風運転

温風のみで運転するときは給水しなくても使用できます。

温風 を押してお好みの運転を選ぶ

強
弱
おまかせ

おまかせ → 弱 → 強

温風運転

おまかせ	自動的に「強」・「弱」・「切」運転を切り替えて、約22℃になるように運転します。 ※部屋の大きさなどにより、室温が約22℃にならない場合があります。 ※運転開始後、約5分間は室温に関係なく強制的に「強」運転します。 ※部屋があたたまり過ぎると約10分間送風運転したあと、運転を停止します。室温が下がれば、再度運転を開始します。運転停止中は室温を測るため、約20分おきに約2分間送風運転します。運転停止時は本体表示部温風ランプが消灯します。
弱	「弱」の温風で連続運転。
強	「強」の温風で連続運転。

温風+加湿運転

温風と連動しますので、加湿のみの運転はできません。

連続
低め
おまかせ

加湿 を押してお好みの運転を選ぶ

おまかせ → 低め → 連続 → 切

加湿運転

おまかせ	自動的に部屋の湿度が約55%になるように調整しながら運転します。
低め	自動的に部屋の湿度が約45%になるように調整しながら運転します。
連続	部屋の湿度に関係なく連続加湿運転をします。
切	加湿運転を停止し温風運転になります。

※同じ室内でも場所により湿度が異なります。また、他の湿度計と差が出ることがあります。

加湿量の目安

設定		加湿量(mL/h) 50/60Hz	
加湿	温風		
連続	強	500/460	湿度に関係なく連続して加湿します
	弱	350/320	
	おまかせ	350/320～500/460	
低め	強	350/320～500/460	湿度を約45%に保つように運転します。
	弱		
	おまかせ		
おまかせ	強	350/320～500/460	湿度を約55%に保つように運転します。
	弱		
	おまかせ		

お知らせ 加湿量は室内の温度や湿度で変わります。

3 切るときは 切/入 を押す

●約30秒送風が出てから止まります。

お願い

●本体内部の過熱を防止するため、運転停止後約30秒間は送風口より送風しています。
・送風が止まるまで電源プラグを抜かないでください。(本体が過熱し、本体が変形する原因)
●吸気フィルターをはずした状態で使用しないでください。(本体内にほこりを吸い込み、故障の原因)
●長期間水を入れて放置すると水質が悪くなり臭いのもとになります。(季節や室温によって水質劣化のスピードが異なります)
・使用しない場合は、給水タンクと加湿トレイ内の水を捨ててください。
●長時間ご使用にならないときは、節電のために電源プラグを抜いてください。
●凍結のおそれのあるときは、給水タンクと加湿トレイの水を捨ててください。

お知らせ

●温風運転のおまかせ設定温度(約22℃)は、本体内部の室温センサー付近の温度で自動制御している為、部屋の温度と異なる場合があります。
●給水タンク内の水がなくなると、給水ランプが点滅します。
・給水タンクに水を入れて再度本体にセットすると、点滅は解除します。
●切り忘れ防止のため、運転開始時から約8時間経過すると自動的に運転を停止します。(電源ランプ点滅)
・電源ボタンを押すと、点滅は解除します。
●運転中に電源プラグや電源コードがあたたかくなることがありますが異常ではありません。

使いかた 切タイマー運転

切タイマー を押す。

●切タイマーランプの「1」が点灯します。
●切タイマーボタンを押すたびに図のように「1」「2」「4」と変わります。

1時間 → 2時間 → 4時間 → 切タイマーOFF

●切タイマーランプは、残り時間の目安を表示し、時間の経過につれて切タイマーランプの表示が切り替わります。
●設定時間がたつと、約30秒送風した後、自動的に運転を停止します。
※タイマー設定時間終了後、再度運転する場合は「電源ボタン」を押して、再度運転を開始してください。
※タイマー設定を解除した場合は、解除した時点から約8時間の自動切タイマーが設定されます。

使いかた 減灯＆消音

減灯&消音 を押す。

●設定後、本体操作部/本体表示部ランプが暗くなり、操作音が消えます。
※設定時は音は鳴りません。
●もう１度押すと、ピッと音がして解除できます。

お知らせ

●本体操作部/本体表示部ランプは明るさを制御しているので、ちらつく場合がありますが異常ではありません。

使いかた チャイルドロック

減灯&消音 を約3秒間押す。

（約3秒押し）

ピッと音がして「チャイルドロック」を設定します。
解除するときは、再度 減灯&消音 を約3秒間押してください。ピッと音がして解除します。
チャイルドロックを設定すると、「切」以外のすべての操作ができません。
※次回運転を開始する時は、チャイルドロックを解除してください。

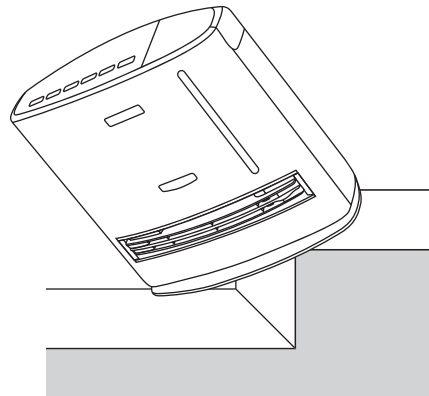
使用上のご注意

転倒OFF（オフ）スイッチについて

転倒OFFスイッチは、本体が転倒などした時に、異常過熱を防止するための安全装置です。

●本体が転倒したり大きく傾くと転倒OFFスイッチが作動してヒーターへの通電を遮断します。
●平らな場所に置き直し、電源ボタンを押して運転が開始できる状態になります。

※本体が傾くような不安定な場所で使用しますと、通電しない場合がありますので、必ず水平で安定した場所でご使用ください。

加湿トレイの水がこぼれた場合は、電源プラグをコンセントから抜いて床面や本体についた水をふき取ってください。

メモリー（記憶）について

電源プラグをコンセントに差し込んでいるときは、電源ボタンを押し、運転を停止しても停止前の運転設定を記憶しています。

●電源ボタンを押すと、停止前の運転設定で運転が開始されます。
●タイマーの設定は記憶されません。

電源プラグを抜くと、記憶されている運転設定は消えます。

温度過昇防止について

誤った使いかたをすると、内蔵の温度過昇防止（温度センサー）がはたらき、運転を停止します。

温度過昇防止（温度センサー）がはたらく原因

●近くに他の暖房器具などがある。
●吸気/加湿フィルターが汚れてつまっている。
●吸気口がふさがれている。
●送風口付近に障害物がある。
●机の下など狭い囲まれた場所で使用している。

温度過昇防止（温度センサー）がはたらいた場合

①電源ボタンを「切」にし、電源プラグを抜いて、本体をよくさます。
②点検をして、温度過昇防止がはたらいた原因を取り除く。

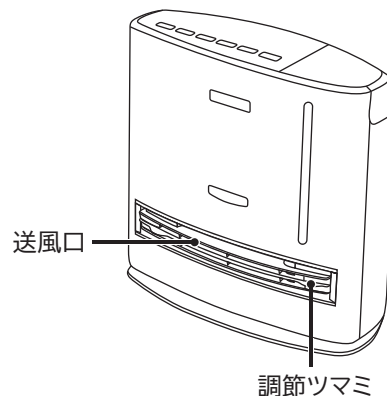
使用上のご注意（つづき）

風向調節するとき

調節ツマミで調節できます。

調節ツマミを持って上下に動かします。

※調節範囲以上に動かさないでください。
※運転前に調節してください。

使用中や使用後しばらくは、送風口が高温となるので触れない。

音とにおいについて

●運転時カチッと音がするのは、送風機やヒーターを作動させるときの音で、故障ではありません。
●初めて運転をされるときは、においが出ることがありますが、ご使用にともない出なくなります。
●水が腐り、においの原因となりますので、加湿運転を使用しないときは給水タンクと加湿トレイの水を捨ててください。

凍結・結露について

●凍結のおそれがあるときは、給水タンクと加湿トレイの水を捨ててください。
そのままにすると、破損・故障の原因となります。
●給水タンク・加湿トレイ内の水が凍結した状態で運転しないでください。
●冷たい水を入れると、給水タンク表面に露がつくことがあります。乾いた布でふいてください。

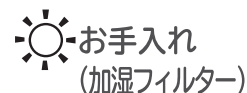
雑音防止について

ラジオ・AV機器・補聴器・電話・パソコン（ワープロ）などを近付けて使用すると雑音が入ることがあります。
このようなときは、本体から離してご使用ください。また、他のコンセントをご使用ください。

お手入れと保管

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがをするおそれがあります。

加湿トレイに水が入った状態で電源プラグをコンセントに差し込んでから約336時間経過するとお手入れランプが点灯し、加湿フィルター・加湿トレイ・抗菌ガラス・フロートのお手入れ時期をお知らせします。
（お手入れランプが点灯していなくても2週間に1回はお手入れをしてください）
※お手入れランプが点灯しても運転は停止しません。
※ご使用の状況によりお手入れランプの点灯時期は異なります。

お手入れランプ

お手入れ
（加湿フィルター）

お手入れの後

●加湿トレイを本体にセットする。
●給水タンク・給水タンクカバーをセットする。
●電源プラグをコンセントに差し込む。
●操作部の『リセットボタン』を約3秒間押す。お手入れランプが消灯します。
※お手入れランプが点灯していない場合でも、お手入れ後は『リセットボタン』を操作音“ピッ”が鳴るまで、3秒間押し続けてください。

加湿フィルター・加湿トレイのお手入れ

①運転を停止し、電源プラグを抜いて、本体を冷ます。

②給水タンクカバーをはずし、給水タンクを取り出す。
（給水タンクの外し方☞7ページ）

③加湿トレイをはずし、加湿フィルターガードを外してから加湿フィルターを取り出す。
※給水タンクを外さないと加湿トレイは取り外せません。
※加湿フィルターガードは左右の爪で固定されていますので、片側を広げて爪を外してください。

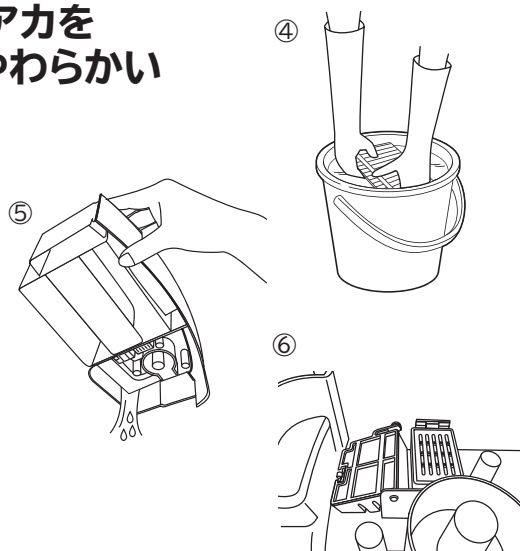
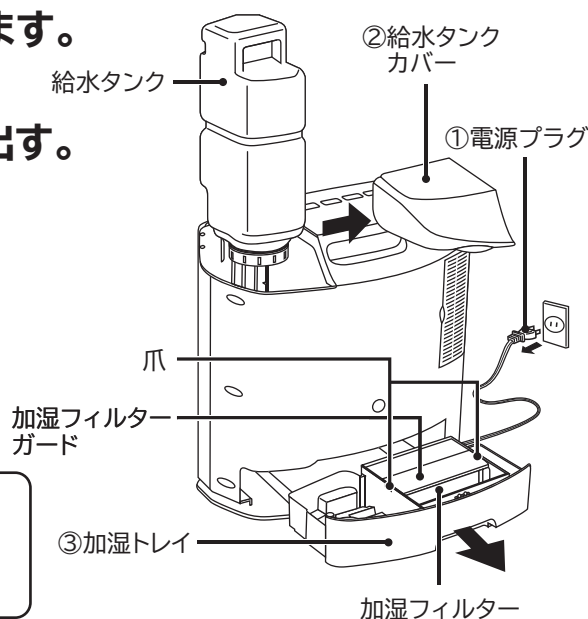
加湿フィルターは水分を多量に含んでいます。取り出すときは、水がたれますのでバケツなどを用意し、その中に加湿フィルターを入れてください。

④水またはぬるま湯の中で振り洗いし、汚れや水アカを落としてください。振り洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取ってください。

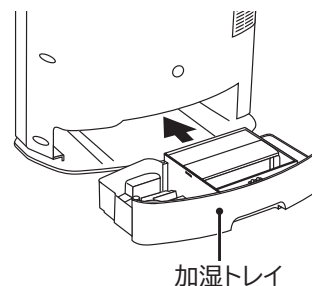
⑤加湿トレイに残った水を捨てる。

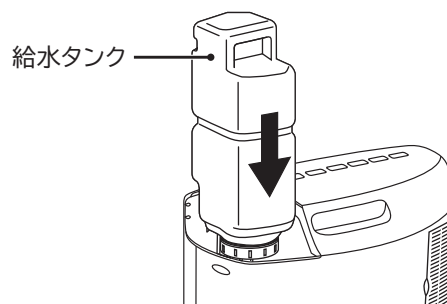
⑥加湿トレイ・抗菌ガラス・フロートを水洗いする。
細部は、綿棒などで汚れを落としてください。

洗剤を使用しない。

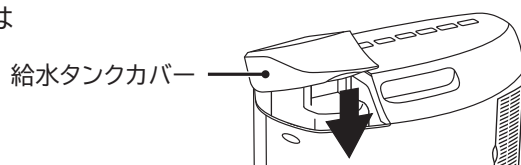
※抗菌ガラス・フロートは加湿トレイから取り外さないでください。

⑧加湿フィルターを加湿トレイにセットし、加湿フィルターガードをセットしてから加湿トレイを元にもどす。

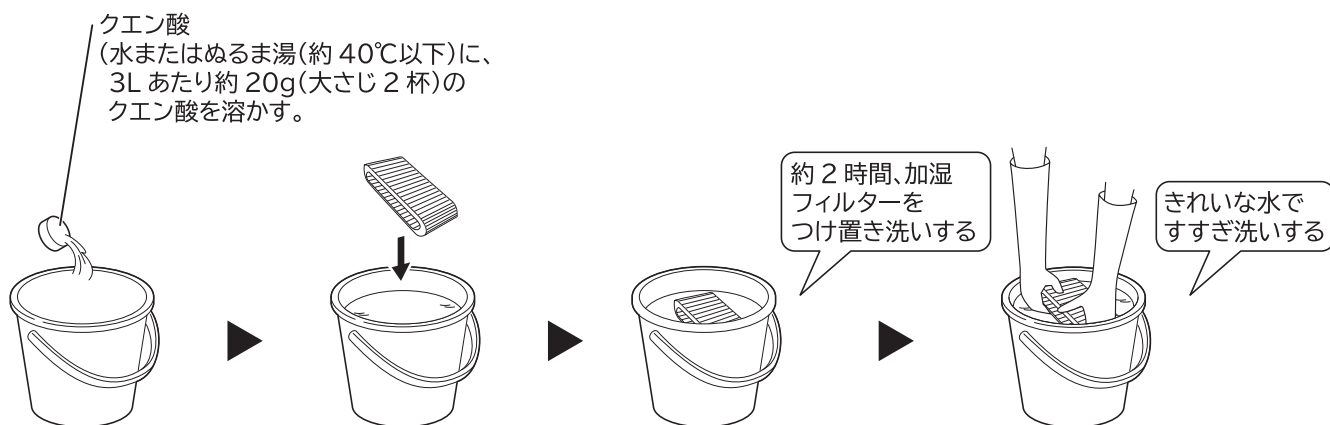
加湿トレイを奥まで押し込みます。
加湿トレイが本体から飛び出していないことを確認してください。

加湿トレイが飛び出したまま使用すると、故障や事故の原因になります。

⑨給水タンクを本体にセットし、給水タンクカバーを取り付ける。

給水タンクカバーは本体正面に向かって、取り付けます。
給水タンクは落としたりしないで、ゆっくりとセットしてください。
給水タンクが傾いていないことを確認してください。

給水タンクの着脱を繰り返すと、加湿トレイ内の水量が増しますので、着脱は繰り返さないでください。

お知らせ

●加湿フィルターは、色落ちする場合がございますが、性能上の問題はありません。そのままご使用ください。

汚れがひどい場合のお手入れ

クエン酸で、つけ置き洗いしてください。

●すすぎが不十分な場合、においの発生・本体の変形・変色の原因になります。
●クエン酸は食品添加物で無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。
●クエン酸は薬局・薬店でお買い求めになれます。

お知らせ

●加湿フィルターの表面には、ご使用とともに白色や赤茶色の固まりが付着しますが、水道水に含まれる不純物（カルシウムなど）のためで異常ではありません。
汚れが加湿フィルター全面に付着したときは、加湿フィルターを交換してください。

加湿フィルターの交換について

3シーズン(約18 ヶ月)に1回交換してください。運転状態や使用頻度によって汚れ具合が異なります。

※1日の使用頻度を8時間、1シーズンを6 ヶ月とし、2週間に1回お手入れをした場合の目安。
※定格加湿能力に対し加湿能力が50%に落ちるまでの期間。
※水質、使用環境によって、加湿フィルターの交換時期は早くなることがあります。

●次のような状態になったときは、交換してください。
・お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
・傷みや型くずれがひどいとき。

●加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますので加湿トレイまたは容器の中で作業をしてください。

お願い ●使用済みの加湿フィルターは、水分をよくしぼってから不燃物として捨ててください。

交換用加湿フィルター

お求めは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

型式:HLC-14F
希望小売価格:2,500円(税別)
(希望小売価格は2015年10月現在のものです。)

給水タンクのお手入れ(毎日)

給水タンクの水は毎日新しい水と入れ替える。においの原因となります。

①本体から取り出し、キャップをはずし残りの水を捨てる。

(給水タンクの取り出し方☞7ページ)

②新しい水道水を1/3程度入れ、キャップを締めて振り洗いをする。

2～3回行ってください。

③キャップや取付部も、水洗いしてください。

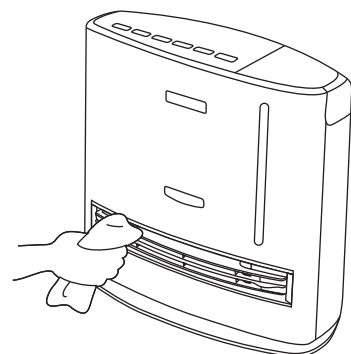
※洗剤を使用しない。
※長時間洗浄しないで使用すると、水あかなどの原因となりますので、定期的に行ってください。

汚れがひどくなると、においの発生の原因となります。

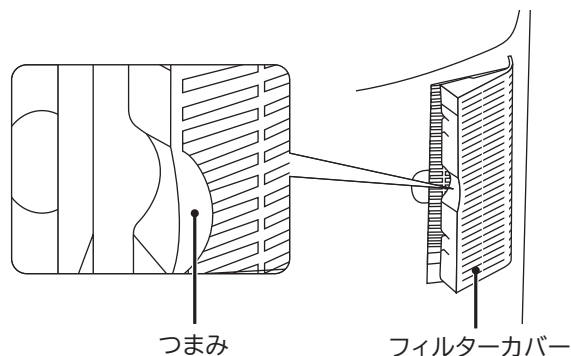
本体/送風口のお手入れ

乾いたやわらかい布で軽くふく。

※汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤(食器用)を布にふくませ、固くしぼってふく。
※強くふくと送風口が破損するおそれがあります。

シンナー・ベンジンなどの揮発性の溶剤は使用しない。
本体を傷めます。

お手入れと保管（つづき）

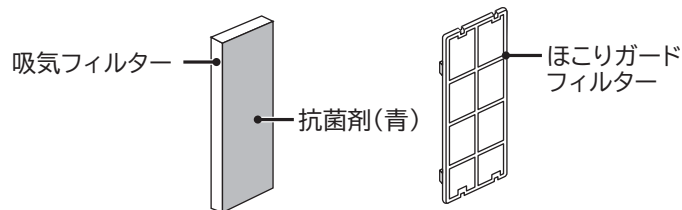
吸気フィルターのお手入れ（1週間に1回程度）

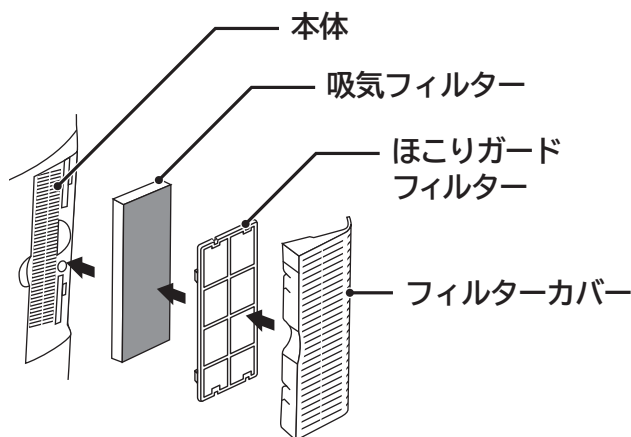
①フィルターカバーをはずす。
フィルターカバーのつまみを右に押し、手前に引く。

②吸気フィルター、ほこりガードフィルターを取り出す。

③ホコリやゴミは、掃除機で吸いとるか、軽く手でたたいて取る。

※ほこりガードフィルターの汚れがひどい場合、水で軽く押洗いをし水をよくきってから日かげで干す。

洗剤を使用しない。

※吸気フィルターは水洗いしないでください。

④掃除後は、抗菌剤の面を外側にして、本体に右図のとおり取り付ける。

汚れがひどくなると能力が低下します。

長期使用しないとき

●排水後よく水切をして自然乾燥させ、お買上げ時の箱に入れて、湿気の少ない場所に保管する。
●特に給水タンクの内部と加湿フィルターは十分に乾燥させてください。
（水が残っていると、カビの原因になります。）

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

こんなときに	おたしかめください
湯気（蒸気）がでない	●この製品の加湿方式は、気化方式なので湯気は見えません。
運転しない	●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ●転倒OFFスイッチが働いていませんか？ → 本体を水平な場所に置いてください。 ●温風おまかせ運転にしていませんか？ →部屋があたたまり過ぎると約10分間送風運転したあと、運転を停止します。室温が下がれば、再度運転を開始します。運転停止中は室温を測るため、約20分おきに約2分間送風運転します。運転停止時は本体表示部温風ランプが消灯します。
風量の出が少ない	●吸気フィルターがほこりで目詰まりしていませんか?→吸気フィルターをお手入れしてください。 ●加湿フィルターに水アカやごみが付着していませんか?→加湿フィルターをお手入れしてください。
部屋の湿度が上がらない	●吸気フィルターがほこりで目詰まりしていませんか？ →吸気フィルターをお手入れしてください。 ●加湿フィルターに水アカやごみが付着していませんか？ →加湿フィルターをお手入れしてください。 ●部屋が適用床面積より広すぎませんか？ → 適用床面積の範囲でお使いください。 ●換気をしていませんか？ → 窓、戸を閉めてお使いください。
ニオイが出る	●加湿フィルター、加湿トレイが汚れていませんか？ →加湿フィルター、加湿トレイのお手入れをしてください。
給水タンクに水があるのに給水ランプが点滅する	●加湿トレイ、給水タンクが確実に本体に入っていますか？ →加湿トレイ、給水タンクを確実に本体にセットしてください。

エラー表示の見かた

表示	内容（原因）	処置方法
給水ランプが点滅	水検知センサー作動 ・給水タンクに水は入っていますか？	水を入れてください。
電源ランプが点滅	切り忘れ防止作動 ・運転開始時から約8時間経過すると自動的に運転を停止します。	電源ボタンを押すと点滅は解除します。
電源ランプ、本体操作部温風おまかせランプ、本体表示部温風ランプが点滅	本体内部高温異常 ・送風口がふさがれていませんか？ ・吸気口がごみやほこりで詰まっていませんか？	障害物を取り除いてください。 お手入れしてください。
本体操作部の「切タイマー」全てのランプが点滅	転倒OFFスイッチ作動 ・本体を転倒させたり傾かせていませんか？	平らな場所に置き直してください。
本体操作部の温風ランプと加湿ランプが全て点滅	室温センサー高温検知 ・室温が35℃を超えていませんか？	35℃以下の室温でお使いください。
その他のランプ点滅	・故障	お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、
お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞19ページ）にお問い合わせください。

❶ 保証書 （裏表紙についています。）	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 **保証期間はお買い上げの日から1年です。**	
❷ 修理を依頼されるときは 持込修理	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。 なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
❸ 補修用性能部品の保有期間	加湿セラミックファンヒーターの補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
❹ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
❺ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。	

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。
電源、電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型式	HLC-1230
電源	100V　50／60Hz
消費電力（50／60Hz）	1130／1100W（温風強運転時）
加湿量（50／60Hz）	500／460mL／h（温風強+加湿運転時）
給水タンク容量	約4.0L
切タイマー	1・2・4時間
電源コード長さ	約1.8m
外形寸法	幅41.0×奥行21.0×高さ41.5cm
質量	約4.8kg（水を除く）
待機消費電力（50／60Hz）	0.5／0.5W

加湿の適用床面積目安	木造和室8.5畳（14m²）まで
	プレハブ洋室14畳（23m²）まで

※適用床面積は日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいた目安です。但し、壁や床の材質、建物の構造等によって異なります。加湿量は日本電機工業会規格（JEM1426）に基づき、20℃・30％で測定しています。

●暖房目安（寒冷地を除く）

断熱材	木造住宅	コンクリート住宅
なし	約3畳（4.5m²）まで	約4畳（6.3m²）まで
50mm	約5畳（7.9m²）まで	約8畳（11.8m²）まで

●1m²当たり必要W数の計算基準

構造	木造住宅		コンクリート住宅	
断熱材（mm）	なし	50	なし	50
1m²当たり（W）	244	140	174	93

加湿セラミックファンヒーターの暖房の目安は、日本電機工業会の統一基準によります。
室内外温度差15℃の地区で、1畳=1.65m²として（50Hzを基準として）算出しています。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87

（受付時間）9：00～19：00（月～土）、9：00～17：30（日・祝日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談窓口へ

TEL 0120－8802－28
FAX 0120－3121－34

（受付時間）9：00～17：30（月～金）
携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は、
休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検

長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を!

●加湿セラミックファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

ご使用の際、このような症状はありませんか?	●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●電源プラグ、電源コードなどが異常に熱い。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

日立加湿セラミックファンヒーター保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HLC-1230		※お買い上げ日	保証期間
			平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　-		様
※販売店	住所 店名	〒　-	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口(☞19 ページ)にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☞19 ページ)にお問合わせください。
● 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☞18 ページ)をご覧ください。

修理メモ

日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12
電話 03(3502) 2111

151030-5